

市民参画と協働による



No.96

平成30年10月3日発行

《問合せ》 自治振興課

TEL : 551 - 0290

(内線 : 3521)

FAX : 551 - 0432



まちづくり通信

平成31年度実施「元気創造まちづくり事業」 公開プレゼンテーションを開催しました！

9月30日(日)10時から平成31年度実施の「元気創造まちづくり事業」公開プレゼンテーションをコミセン大宝東で開催しました。今年は5団体の応募があり、限られた時間の中でできるだけ審査員にわかりやすく伝えようと、パワーポイントやチラシを使いながら工夫を凝らした発表をされました。



審査委員長講評（一部抜粋）

みなさま、お疲れ様でした。

本日のプレゼンテーションは、サポート講座を事前に受けておられることもあり、どの団体も大変魅力的で分かりやすくまとめられていました。特に印象的だったのは、演台があるにも関わらず、みなさん演台の前まで出て発表されたことです。すばらしいと感じましたし、その熱意に大変元気づけられました。時間については残念ながらいくつかの団体でピッタリとはいきませんでした。時間が過ぎるのも構わず話し続けるのではなく、時間配分がうまくできずオーバーしてしまいましたが、何とかもう少しだけ聞いて欲しいという姿勢が見られました。公平性という観点から言えば、発表の途中であっても終了するべきではありましたが、発表者の熱意、姿勢に応えたということで、お許しいただければと思います。

さて、今回は新規の事業が4つも出てきました。これは大変喜ばしい事です。無論、大先輩である観光ガイド協会さんが続けてくださることは有難いことですが、もし今日の発表がガイド協会さん一団体だけだったとしたら、寂しい発表になったのではないのでしょうか。そういう意味でも後進のみなさまがいらっしゃるのとは大変良いことだと思いました。テーマについても極めて多様性に富んでおり、観光、子どもの居場所づくり、防災、無花果、ホテルとこれまでにないバラエティの多さで、傍聴されたみなさまにとっても審査員にとっても刺激が大きかったのではなかったかなと思います。

プレゼンテーションの中で、大変良いと思った点を挙げますと、専門家の方の知見を活かそうと工夫する、中学生や高校生の力を借りる、大学生のボランティアに手伝ってもらうなど、自分たちだけでなんとかやろうとするのではなく、地域資源といひましようか、いろいろな人の力を借り、連携をしながら、より活動を広げていこうとされている団体が大半だった点でございます。そのように活動をしていただくことは、助成を受けて3年間活動した……にとどまることなく、仲間が増えていき、市全体として元気になるという、この事業の本来の目的が達成されるにも繋がっていくと感じました。